



第89回全国高校サッカー選手権大会に我が駒場高校は東京代表として13大会ぶりに出場。第一回戦の相手は今大会優勝校の滝川第二(兵庫)でした。同日、日本テレビにて中継されたため、多くの松桜会員にも感動を与えました。

山下監督は第86回大会で都立三鷹高校を8強に導いた手腕を持つ駒場高校のOB。今回ご寄稿をいただきました。



駒場松桜会会報

第88号

2011年4月1日発行
(財)駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX
03-3466-7579

携帯電話のカメラで撮るとホームページが開きます。



住所変更もできます。



住所変更専用QRコード

選手権を終えて

サッカー部顧問(監督)
山下正人(駒27)

平成22年12月31日、西ヶ丘サッカー場において、滝川第二高校と選手権一回戦を行いました。

1対6と残念な結果となりましたが、ここに至るまでの生徒達の姿がすぐに思い浮かんできました。毎日泥まみれになり走っている姿、全員で大きな声を出して励まし合っている姿、苦しい顔、笑顔、泣き顔など。一年間の成果が今こうして全国大会に出場できたということ、そして終ってしまったということ。三年生は最後の試合ということで本当の一つになり、東京代表を決めた次の日から練習に取り組み、後輩達に大きな成長ぶりを見せてくれました。また、代表決定後、サッカー部OBはもちろん、保護者の皆様、卒業生の皆様からも励ましのお言葉や多大のご寄付をいただき、部員共々感謝の気持ちでいっぱいです。有り難うございました。

年末の忙しい時期に、西ヶ丘の応援席を埋め尽くし、大きな声援を送ってくれた在校生、卒業生、先生方、保護者の皆様にもお礼を申し上げます。あの声援を忘れずに、これからも日々努力を重ねていきたいと思っています。

本当にありがとうございます。

美味しく食べて健康長寿

岸 朝子 (第三37)



テレビでもお料理を召しあがったあとの「おしゅうございました」で馴染み深い岸朝子さんからご寄稿いただきました。女性が働くのはまだ珍しかった時代に女性料理記者となられ、懐かしい府立第三高女の教育方針を残されながら、敗戦後の新しい時代を自立した女性としてご活躍されてきた軌跡の一端をお読みください。

■府立第三高女の教え
昨年の猛暑、今年の厳寒、特に日本海側の大雪の情報を見てみると、地球が怒っているのではないかと不安になります。

とはいつても、靖国神社の桜のつぼみが開いたと聞くと、女学校入学式が府立第三高女(現駒場高校)で行われた日を思い出します。

入学式のとき講堂の演壇の左右には「質実剛健」「貞淑温順」と書かれた掛け軸が見られました。いまから思うと花嫁教育が教育方針だったのでしよう。他の女学校を卒業した人たちが二年制の高等科に入学する例も多く、今から考えると「トッピング」だったのでしよう。いずれにしてもこの時代は、女学校を卒業したら満二十歳までには結婚するというのが常識だったように思います。

話は変わりますが、第三時代の仲よしグループに思い出を聞きまくりましたが、共通しているのは仰光寮とコチロン、お作法の伊藤先生、体育の池田先生と石川先生でした。まずお作法の伊藤先生はおぐしを二百三高地型(?)のようにきちんと結いあげ袴をはかれた和服姿。何かの用で教員室に行ったとき先生の椅子に触れたようで、出口まで追いかけられ説教されました。ニックネームは「サババ」。

六本木交差点から芋洗坂を下ってすぐ右手に第三の校舎は



第三 37 東級 (岸朝子氏は前列右から 6 人目)
(1941 年卒業アルバムより)

ありました。
突き当たりにある奉安殿の前の広場に集まって校長の訓辞を聞いた折、生徒の一人が池田先生に「びしゃっ」と頬を叩かれました。訓辞の最中に笑ったというのが後から聞いた話。池田先生のニツクネームは「シヤケ」。

石川先生はコチロンの練習中さちんと踊らなかつた友人は何回も何回も繰り返し踊らされていました。

いずれにしても第三高女は厳しいしつけの学校でしたが、卒業の時広瀬校長が生徒のひとりひとりに和歌を書かれた短冊を手渡されました。

私の短冊には「この人を おいてはほかに 人なしと 人に いわれる人となれかし」とあり、よき妻、よき母となれというお言葉かと思ひ、心に沁みました。

■「まだ働くつもり？」
結婚して子育てもしましたが、敗戦後、職業軍人であった夫との暮らしの助けにと三十二歳で四児の親でもあった私は、職業婦人として婦人誌の「主婦の友社」の採用試験を受けて合格し、料理記者五十五年の道歩んできました。

良妻賢母を目標に教育された私たちが戦前派は、十数年前まで続けたクラス会を七十代後半で終わりにしましたが、仲よしこよしのクラスメートの会は続いています。私自身は仕事に追われて欠席も多かったのですが、(株)エディターズの社長として三十三年続けてきた会社は昨年未で閉じ、岸朝子の本名の頭文字を略して「akオフィス」と名付けて仕事をしています。

「まだ働くつもり？」と聞かれることもあります。少しは気楽に旅や読書にも時間をとりたいと願っています。

その心の奥には作家でもあり出家された尼さまでもある瀬戸内寂聴さんの「生かされている命」という言葉があります。

生まれてきたのは父と母のお陰で、生きていくのは私の勝手などやりたい放題だった私が、七十歳前半にこの言葉に出会って反省しました。遅かったですね。それから生かされている命を大切に、世のため、人のためになるようにと「美味しく食べて健康長寿」をモットーに仕事を続けています。

お陰さまで昨年は数えの八十八歳で米寿の会をあちらこちらで開いていただきました。七十代に激しい頭痛で「高血圧症」との診断をくだされて降剤を飲むようになりました。薬効か血圧の数値も平常になり、すべて異常なしの健康を保つことができているのは、卒業してから一年間学んだ女子栄養学園(現女子栄養大学)の創始者、香川昇三、綾先生のお陰です。

日本人の国民病とされた結核と脚気の患者を減らす「病人をつくらない食生活の普及」から始まった学園の校舎は、私の家から15分足らずの大和郷(文京区本駒込)にありました。

昇三、綾夫妻はお二人とも医学博士で、午前中は生理学、栄養学などの講義で、午後はその学問を実践するための料理実習でした。「おいしい料理を習いたい」と入園した食いしん坊の私は驚きましたが、無事に卒業。学園の講義にいられた東京帝国大学の先生のご縁で、一年間帝大の農芸化学の教室で働きました。栄養学は机上の空論であつてはいけないと心に沁みつけ、実践栄養学を一人でも多くのの人に伝えたいと願っています。

き立てご飯と実だくさんの味噌汁、納豆だけでも味がよければ自然と「おいしゅうございませ」と感謝の言葉が出てきます。母はよく「悲しんでいる人にはおいしいものを作って励ましてあげなさい」と言っていました。姉の尚道子は料理研究家ですが、近所の家に不幸があると通夜の席に料理を作つて届けるので、私や妹は「お通夜おぼさん」と呼んでいました。

香川綾先生は「食は命なり」とよくおっしゃっていました。最近私は「命は食にあり」と声を大きくしています。「生病老死」とは古くからいわれている言葉です。確かに生まれたら老いてあの世ゆきになるのは当然のことですが、老いても健康で人の役に立てれば幸せな人生だと私は考えます。朝でもご近所の人に会えば「おはようございませ。よいお天気ですね。」と挨拶すればあちらも同じような顔で挨拶なさる。それだけでもお互いの心がなごみます。最近は大人の「ひきこもり」がふえていると聞きます。テレビやインターネットだけで挨拶も会話もできないような社会に「だれがした!」と言いたいのです。また、料理をつくらぬ奥さま方の増加。つくらぬのではなく、つくれぬから、つくるのが面倒臭いからとも聞きます。私は恩師香川綾先生が九十八歳で亡くなられる半年は

ど前に取材した折、実践栄養学の話の最後に「人間は動物の仲間である。動物は子どもに餌のとり方、食べ方を教えている。それだけでなく、食べたらいけない毒のあるものを避ける知恵もさずける。ただ、動物は火を使えない。つまり料理はできないということだ。人間は「何をどれだけ、どうやって食べるか」を伝えていくことができる。これは男も女もない。人間の資格である。」と話をしめくくられました。私は先生のご遺言と心得て多くの人に伝えたいと、もうしばらく健康である限り、人のため世のために尽くしたいと願っています。

年を重ねることは思いがけない人との出会いがあつて楽しいもの。松桜会のみなさまも「なにを食べてもよいけれど食べすぎない」をモットーにお元氣でお過ごしください。

岸朝子氏 略歴

- 1941年 東京府立第三高等女学校卒業
- 1942年 女子栄養学園卒業
- 1955年 主婦の友社出版部入社
料理記者としてスタート
- 1968年 女子栄養大学出版部
「栄養と料理」編集長
- 1979年 (株)エディターズ設立
東京国税局の東京地方酒類審議会委員
国土庁 食アミテコンテスト審議会委員
その他多々の委員・理事などを歴任
- 2010年 (株)エディターズを閉じ
「akオフィス」にて料理記者歴更新中

せんせ

第7回



1922年生
私立桜蔭高女 卒業
東京女子高等師範学校 家政科 卒業
1945年4月 府立第三高女 赴任
1983年3月 都立駒場高校 退職

駒場ひとすじ 児島節子先生

駒場高校大好きな女性教師の同窓会がありました。毎年8月31日に昼食を共にし、語り合うときを楽しみました。15年くらい続いたかなあ。千葉県にある国立歴史民俗博物館へ、学芸員をしておられた元同僚の菱刈氏(社)を訪ねて、皆でばっちり勉強したこともあり。河合(社)小貫(体)佐藤(国)善方(英)橋内(音)鈴木(音)大牧(英)落合(英)小川(英)竹中(図書)児島(家)の中で、冒頭の5名は先に逝かれ、外出不如意になった者もいたりして、数年前に解散しました。駒場がまた一歩遠くなりました。

敗戦後疎開地から次々と帰校して来る生徒たちを迎えて、駒場高校はみごとに復活しました。その引力は強いですね。昭和20年4月に赴任して38年間勤務した私、未熟非力でごめんさい。今長女と二人暮らしですが、近所に次女の家族4人がいて、始終訪ねてくれますので、個人的には気楽・平和に過ごしています。けれども私達年寄りには、次の世代に大きな負債を残していくのですね。どうする力も持たない私は祈るのみです。

天地万物はひとりだに出現したのではない。お創りになった創造主がおられる。その創造物を支え、守り、繁栄に心を配る責務を、人々に課せられた。又「殺すな」と戒められた。その責務を理解し、信じ従う、人がふえて行くよう、切に祈ります。呆け防止に役立つかと思ひ、俳句の結社誌の「未来図」(注)へ、毎月10句を投句しています。10句すべてが合格するのは稀で、難しいことです。あてにならぬ期待ですが、坦坦と詠みつづけたいと願っています。合格した中から、4句披露させていただきます。

春 節分や宙にぼっかり月置かる
夏 今年一尾ふえたる隣り鯉のぼり
秋 坦坦と道どこまでも曼珠沙華
冬 クリスマス屠らるるため
生れたまひし

(注) 俳文学を井本農一、俳句を中村草田男に師事した鍵和田柚子氏主宰で、1984年創刊。

新入会員から



駒63-1 島立 純子
私は駒場が大好きです。胸を張ってこう言える幸せを感じています。駒場で過ごした日々は、毎日がキラキラと輝いていました。



駒63-5 小林 亮介
私が駒場高校に入学したのが三年前。最初は長いと思っていた三年間も、終わってみればあっという間でした。毎日の授業は新しく、難しいことばかりで、楽しくもあり同時に辛いものもありました。勉強が嫌いな私にとっては、どちらかと言えば辛い

いことの方が多かったですが、それも含めて今では良い思い出です。また、部活動(百人一首部)では同学年の部員がいなくて大変なこともありましたが、優しく頼もしい先輩と元気で愉快な後輩に支えられ乗り越えることができました。三年の夏の最後の大会はずっと忘れないでしょう。学校行事においては、勉強で忙しい中、ホームの皆が団結して大成功を収めた文化祭の劇が一番印象に残っています。

駒場高校での思い出は数え切れないほどあります。それら全てを糧にして、これからも頑張っていきたいです。



駒63-保 三上 なつき
嵐の中の入学式。そして、嵐のように過ぎ去った三年間。部活動で一日が始まり一日が終わる。毎日が、とても充実していました。

交流会では稽古とOB・OG混合のトーナメント形式の試合が行われ、他に、高段者の駒18杉本憲司氏と駒42毛利純也氏による日本剣道型も披露され、駒7山田希一氏、駒9舟木勝男氏からは剣道部創設期の逸話などが披露されて、在校生は駒場剣道部の伝統の深さを噛み締め、一層の稽古をと心に刻んだ様子でした。

指導教官の田中先生を含め総勢50名が4時間に亘って竹刀を振り、稽古終了の太鼓の音の届かないほどの熱気が広い体育館に溢れました。

OGからは駒46横須賀愛子さん、駒61近藤史さんが参戦され、在校生父兄も熱心に見学するなど世代を越えて活気溢れる交流会になりました。

「駒剣OBOG会」は駒7張富士夫会長、駒10久能晃副会長の下で、この後も正月の稽古始への参加、東京都高校大会への応援など活発な活動を行います。剣道部卒業生で住所が変わられる等で連絡が届いていない方は、駒15岸本雅晴へメール(Krnasaha@gmail.com)でご連絡ください。折につけ皆で旧交を温めましょう。

岸本 雅晴(駒15)



剣道部の卒業生が在校生と交流会を開催

25日(土)
 14時30分
 年2,000円)
 は無料です
 いただけますが、
 で、会報に同封
 いただけます
 ります。

**会場：グランドアーク半蔵門
 4階大宴会場「富士」**

東京都千代田区隼町1-1
 Tel 03-3288-0111

○地下鉄

半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩5分
 有楽町線「麴町駅」1番出口より徒歩15分



○都バス

JR四谷駅麴町口を出て、道路を挟み上智大学が見えるところにバス停あり。「晴海埠頭」または「三宅坂」行きに乗車。バス停「半蔵門」で下車。約6m戻り、信号を渡り直進。突き当たりを左折。

都バスの時刻(土曜日)	晴海埠頭行き	三宅坂行き
四谷駅前	12:22	12:43
	13:25	13:42

駒43 気軽に参加を…!

遠藤 理希(駒43)



卒業20年。皆さんは高校時代の友人と繋がりがありますか? クラスが別、まして先輩・後輩となると卒業後に会う機会は少ないかと思えます。そこで6月の「同窓の集い」をクラスや学年を越えた再会の場としませんか?

松桜会の会費払ってないんだけど…という人も大丈夫。3年分のみで残り17年分は結構です。大先輩とか緊張しそう…という人、心配ご無用。皆同じ駒場の卒業生です。知り合いが一人もいなかったら…という人、ポジティブに考えましょう。疎遠になっていた友人に久しぶりの電話をする良い機会です。誘い合わせて来て下さい。

一人でも多くの人に参加して頂き、旧き縁を新たに直す楽しい集いにしましょう。

会コンサート 2010 年度

日(日)に東京オペラシティリサイタルホールに、20名のメンバー「弦楽合奏団アカンサスII」の皆さんをお迎えし開催しました。には、霜佐紀子さん(駒11) 西本徳子さん(駒16) 小宅栄子さん(駒恵子さん(駒19) 脇屋弓子さん(駒19) と5名の駒場卒のバイオが居られます。

は、バロック音楽の世界に引き込まれるジュニアニ作「合奏短調」に始まり、当日の秋晴れを彷彿とさせるヴィヴァルディーら「秋」の調和の取れた弦のアンサンブルを堪能した後、メンデンの「弦楽のための交響曲第十番」の重厚な世界へと誘われました。では、一転してジャズ調のリズムで始まる武満徹作の三曲の映画奏された後、レスピーギ作の組曲では、豊かで優雅な音色に会場込まれました。



小さなお子さんから大先輩までで埋まった会場は、アンコール曲ドヴォルザークの「ユーモレスク」に至るまで、素晴らしい音楽のひと時を堪能することができました。

都駒祭 報告

平成22年9月19日(日)・20日(月) 仰光寮には香淳皇后の掛け軸「桃の春」を公開し、2日間で730名の方が訪れました。

羽島知之氏(駒6)のコレクションから香淳皇后に関する新聞や写真などの資料を展示し、昭和時代の皇后陛下を知らない若い方たちへの説明に大いに役立ちました。



203教室には青木邦子氏(D38)の油絵を拝借し素晴らしい絵画の中で1013名の方にゆっくりと休憩していただきました。



また20日の午後1時から中庭で第三高女、駒場の卒業生により恒例になったコチロンのデモンストレーションを行い、華やかに盛り上がりました。

来たれ!! 「同窓の集い」へ

母校サッカー部は昨年の大晦日、全国高校選手権の舞台に立った。スタンドは必勝を祈願して先生、生徒、保護者、そして卒業生で一杯に膨れあがった。結果は完敗。しかし、スタンドの表情は選手の健闘を称え、気持ちをひとつにしての応援に大満足の顔、顔、顔、であった。「同窓の集い」は、同じ校舎、グラウンドで学び、青春を過ごした者達の気持ちがひとつに通じ合える場所である。さあ! 「同窓の集い」に出掛けよう。

今年度の幹事学年は駒23、33、43です。ご協力、ご支援を!

日時：平成23年6月
受付：11時30分～
同窓の集い：12時～
会費：5,000円(未
新入会員(駒63)

当日受付でもお支払い
混雑が予想されますの
の振込用紙にてお振込
と助かります。
なお、先生はご招待にな

駒23 皆様お元気ですか?

米本 光一 (駒23)

皆様お久しぶりです。卒業して40年、それぞれの道を歩まれ、社会の荒波にもまれて今日に至られたと思います。各々の個人からみたつながりで考えますと、小学校、中学校、高校、大学もしくは専門学校を卒業し、会社でのつながりなどがおありと思います。私達はすでに人生の大半の歳月を使い果たし、多くの方は、お子様が独立され、お孫さまにも恵まれたものと思います。すでに50歳代末であり、体力も衰え、がんや脳血管障害、骨粗鬆症で悩まれることも間近です。ここで、インパクトの大きかった高校時代の仲間と再度むきあい、人間関係を再構築するきっかけのお役にたてればと考え、幹事をひきうけました。ぜひ、6月にお会いしましょう。



駒33 駒33の皆さま

東田 康志 (駒33)

卒業から早30年、皆さん元気ですか? 駒33では卒業から30年ということで、2011年「同窓の集い」の学年幹事を務めます。ぜひ、沢山の方にご参加いただき、諸先輩方や後輩の皆さまとの縦のつながりを深め、府立第三高女から続く駒場の歴史と誇りを体感いただければと思います。駒場の友人とは疎遠になってしまったという方も心配は無用です。同期のみに限らない学年を越えた新たな交流の場としての「同窓の集い」になればと思います。



駒33メーリングリストへのご登録をお願いします。
MLページ：<http://groups.yahoo.co.jp/group/koma33/>

●コチロン合宿のお知らせ

日時 10月4日(火)～5日(水)
場所 国立女性教育会館
(0493-62-6723)

*詳細は次号でお知らせします

●コチロンを踊る会

会場 生徒ホール
(変更の場合は掲示します)
日時 4、5、6、7月
毎月第3火曜
月1回土曜日
午後2時～4時



○第12回コチロン合宿

平成22年10月5日(火)～6日(水)
武蔵嵐山の女性教育会館にて27名の参加者で合宿を行いました。

今回はコチロンのダンスの前に準備運動代わりにフォークダンスも踊り、あっという間に3時間の練習が過ぎました。

夜には懇親会があり、素敵に年を重ねられている先輩方のお話しの感銘を受けつつ楽しいときを過ごしました。

翌日も好天に恵まれ無事に練習を終え、来年も元気で参加できることを祈りつつ散会しました。

♪「嵐山ウィーク」に参加の記事は、7面をご覧ください。

次回「松桜会コンサート」のお知らせ

来年、平成24年2月25日(土)14時から東京オペラシティリサイタルホールでピアノニストの森島英子さん(駒22)のリサイタルを予定しています。

どうぞご期待下さい。



松桜会

11月28
からなる
メンバー
17)山下
リニスト
第一部
協奏曲ト
の四季カ
ルスゾー
第二部
音楽が演
中が包み



泌尿器科のいまどき情報

医学界の目ざましい進歩をふまえて、さまざまな情報が出されています。

その一端をわかりやすくお知らせするコーナーとしてみました。

はて、男か女か？

福谷 恵子(駒8)



プロフィール

1938年東京生まれ。東京大学医学部卒。医学博士。泌尿器科専門医。性分化異常の基礎、臨床を研究テーマに論文多数。1988年あそか病院泌尿器科医長に就任し地域医療と後進の指導にあたる。2008年退職。

「おめでとうございます。男(女)の子さんですよ。」と産科医に告げられたとき新生児の性は決定する。外性器の形によって決めたこの戸籍上の性はまず正しい。しかしごく稀に性器が男女中間的な形を示す場合があり、これを性分化異常という。

ヒトの性はXとYの性染色体の組合せによって定まり、XYなら男、XXなら女となる。睾丸、卵巣の基である性腺原基は両方に分化する可能性をもっており、Y染色体上にある睾丸決定遺伝子により睾丸が発生し、これがないと卵巣に誘導される。胎生期の睾丸は男性ホルモンを分泌し、両方の外性器に発育できる原基はこのホルモンにより男性外性器を形作る。男性ホルモンのない女性では性器は女性型となる。男性ホルモンの分泌異常により様々な程度の男女中間型外性器が発生する。

代表的な性分化異常、半陰陽について述べる。真性半陰陽は一個体が睾丸と卵巣の両方を持ち、その量的関係で外性器は中間型となる。どちらに近いかにより性別を選び、反対の性腺は摘出して外性器を形成する。女性半陰陽はXX型で、卵巣、子宮をもつ女性である。胎生期に異常な男性ホルモンが働いたため外性器が男性化したので女性化手術を行う、だが問題はXY型で睾丸を持ち、性器が男女中間的な男性半陰陽の性別選択である。

一症例を示す。私は小児病院泌尿器科で研修していた。ここへ戸籍上女とされた幼児が地方から訪れた。外性器は陰核が大きかったが女性に近い。性染色体はXYで下腹部に睾丸らしい構造が触れた。上司は男性半陰陽と診断し、性器の男性化手術をして男性に性別変更するよう母親に説明した。「XYで睾丸があったら男の方がいい。ラーメン屋の出前持ちになったって男の方が給料が高いから。」というのが男性である先生の持論だった。

数年後、私は大学病院にもどり性分化異常を研究テーマに選んだ。その頃には性分化に関する研究が進み、男性半陰陽の一部では女性にするのが適切と考えられていた。

再びこの患者に出会ったのは私が大学を辞めて一般病院に就職した時だった。彼女は25年以上あいまいだった自分の性をきちんとしたいと希望した。男女どちらでも通じる髪型と服装だった。なんと母親の経営するラーメン屋で出前持ちをしているという。初恋の人は男も女もいたよと嬉しそうに語った。

外性器は小児期と変わりなく、女性型陰毛の発生以外にどちらの二次性徴も認めなかった。男性ホルモン値は女としては高かった。MRI撮影で両側下腹部に小さい睾丸があり、子宮はなく浅い膣が描出された。

社会的に女だった。この外性器を男性型に直すのは困難だ。睾丸摘除、外性器の女性化手術と女性ホルモン服用を勧めた。しかし彼女は精神的に女になる自信がないようだった。女性ホルモンをのんでも子宮がないから月経は出ないと話すとはっとした様子で乳房の発育はぞっとするという。近ごろ性同一性障害という疾患がしばしばマスコミに登場する。生物学的に完全な男か女でありながら、人格的には反対の性に属すと確信する人々である。彼女の場合状況は異なるが、この疾患を専門とする精神科医に紹介した。そのお返事の一節に「彼女には女の自分も男の自分も、どちらも大切なのです。」とあった。母親にも上京してもらった。母親は「女のママがいい。子供は産めなくても女として性生活ができるなら、理解ある男性を見つけて結婚し、二人で商売を盛り立てればいい。」と実際のだった。

長い話し合いの末、彼女は手術に同意した。女性ホルモン投与に関しては住いに近い病院へ依頼した。彼女のひがみのない明るい性格に私は好感をもっており、周囲の人々も寛容に受け入れてくれたらと望んでいる。

札幌支部

中村 庸子(駒12)

私が駒場を卒業して五十年以上が過ぎてしまいました。高校卒業と同時に親の住む北海道に渡り、そのまま住みついであります。

縁あって松桜会に出席したのは三十代後半で、それまで同窓の方とのお付き合いはしませんでした。

松桜会に出席する毎に諸先輩の笑顔と生きざまの美しさに感動します。社会的に活躍される方、内助の一筋を通される方、皆お手本にしたい方々です。

現在松桜会札幌の名簿にある方はわずか十名余り、中には体調不良の方もあって、会合を持つとしても数名の出席となってしまうようです。六年程前に一番若いという理由で支部長を承つて以来一度は会合を持ちましたが、その後家庭の事情も重なっていたせいで時が流れ、今年こそは何かしなければと思っております。

お若い方々で札幌近くにおいでの方と交流の機会が持てたら嬉しいと考えております。



掲 示 板

●第29回「合唱曲集を歌う会」

日時 2011年5月21日(土)
午後2時~4時30分
会場 日本福音ルーテル大岡山教会
〒145-0063 大田区南千束3-16-5
会費 1,000円
係 新井 (03-5701-0194) (駒4)
鈴木 (03-3414-9723) (駒4)

母校生徒の活躍(1月31日現在)
全国大会 結果
★全国高等学校総合体育大会(沖縄)
◇サッカー部 2回戦進出
◇陸上競技部 男子110H 決勝2位
★全国高等学校総合文化祭(宮崎)
◇小倉百人一首部門
◇百人一首部 優勝(東京都チームに参加)
★全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
◇水泳部 出場
★全国高校サッカー選手権大会
◇サッカー部 1回戦で優勝校の滝川二と対戦
会員各位よりのカンパありがとうございました!
◇柔道部 出場決定(3月開催)
これからも母校生徒の応援よろしくお願いたします!

◆同期会のお知らせ◆

駒10同期会

日時 5月15日(日) 13時半~
会場 新宿南口 小田急ホテル
センチュリーサザン
タワー21階
参加費 6,500円
振込先 (駒場10回生同期会)

駒24同期会

昨年10月16日(土) 午後2時から新宿の「ハイアットトリージェンシー東京」にて、磯部勇先生にもご出席いただき、100余名の参加をもって、駒24の同期会が4年ぶりに開催されました。

駒14同期有志の会(紫陽花会)

初めての方、再度の方、大歓迎
日時 6月25日(土) 12時~
会場 楽園菜館
目黒区鷹番1-2-6
連絡先 安中みな(2ホーム)
03-3793-2271
03-3710-2877

駒16同期会

日時 5月21日(土)
午後2時~4時
午後1時30分
受付 二次会予定有り
場所 渋谷エクセルホテル東急
(代表03-3462-0109)
会費 8,000円

駒26同期会

昨年のひと際暑い夏を凌ぎ切った11月6日、駒26は品川プリンスホテルに於いて、四年毎を定例としてから二度目となる同期会を、先生方10名、同期生160余名の参加をもって開催致しました。

駒33同期会

日時 9月24日(土) 17時~
会場 帝国ホテル
(千代田区内幸町1-1-1)
連絡先 駒33同期会メンバーリングリスト
mailto:koma33owner@yahoo.co.jp

◆同期会の報告◆

今回は始めにホームごとに壇上で名前だけの自己紹介(旧姓)をすることで参加者を確認し、いつも以上に楽しい再会の輪があちこちに広がりました。懐かしい「あんバター」を再現してのサーブスもあり、最後には3年時のホームだけでなく、クラブや様々なパターンでの写真撮影もありで、随所に幹事の心配りが感じられる温かなひと時を過ごすことができました。

「嵐山ウィーク」にて「コチロン披露」

昨年11月8日からの「嵐山男女共同参画交流特別週間」に松桜会のコチロンを披露していた



◎硬式野球部 創部60周年記念誌発行

昨年9月4日に開催した60周年パーティーには、初見現校長をはじめ、顧問の先生、退職された先生方、また保護者、在校生など、130名近い出席がありました。OBにより記念誌が作成され、一部松桜会事務局にもお届けしました。今後とも硬式野球部OB会の活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

●事務局に届いた サッカー応援記を ご紹介します

大晦日、東京在住の6人の子と孫にひかれて、13年ぶりに都代表として出場の全国サッカー大会初戦を応援横幕、旗を持って浜松から妻と共に応援に駆けつけた。11時頃場内に入ったが、先ず部員の多さに驚かされた。私の在学中は1学年せいぜい4~5人。南兄弟とか同期では親友故宮田貴夫君、他に向井平太郎君や落合(現谷村)政次郎君、松葉一彦君などが所属していたと思う。孫が3人ともサッカーをやっている、駒場の名前もかなり知れ渡っていて、駒場を目指している孫達の友達もいるとか。昔は都立高校が代表になることなど夢のまた夢、ありえない状況だった。孫達が文武両道などと母校をよんでいたの、何となく誇らしくも感じた。

今後更には飛躍をはかり、再度代表となり、初戦突破、そして国立への道を進むべく精進を計ってみたい。フレ、フレ、駒場! 上月 恒俊(駒9)

寄付者芳名

藤原 明子(D34)
藤井 調子(故)(駒7)
ありがとうございました

松桜会講座のお知らせ(平成23年度上期)

4/9
締切

対象者：駒場松桜会員・母校教職員・PTA会員

申込方法：往復はがきに ①講座名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④氏名

⑤会員-卒業年度 教職員-所属 PTA会員-お子様の氏名・学年・ホーム を記入してください。

☆返信はがきには宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき、1枚でお申込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 駒場松桜会事務局

A 講座

講師

栗屋不二子

(本校元国語科教諭)

お茶の水女子大学
国文科卒業
東京大学大学院
国文博士課程中退

『源氏物語』を読む

「六條院の人々」

数々の悲運を乗り越えた光源氏に、一門の春がよみがえります。

栄華を極めた六條院の造営、そこで暮らす、源氏若き日に交情のあった女性たち。彼女らの心情は様々で、揺れ動く心のひだ、嫉妬あり、諦念あり、読みごたえがあります。

今回は、その人々のたどった運命、それぞれの立場を追ってみたいと思います。皆さんはどの女性に共感なさるでしょうか？

定員：25名

受講料：2,500円

会場：東館 和室

10:30~12:00

4/23 (土)

5/14 (土)

5/28 (土)

6/ 4 (土)

6/18 (土)

B 講座

講師

上田泰子(駒32)

日本体育大学短期
大学体育科卒業
全日本エアロビック
選手権女子シングル
優勝
現在OKJエアロビッ
クファミリー代表

KOMABA かんたん フィットネス

—これなら続けられる—

気持ちが明るく、体が軽やかに……自然に笑顔があふれだし……元気が膨らむ！仲間ワイワイやりましょう！

受講生に合わせた、誰にでもできる「かんたん」な動きでストレッチ、腰痛、膝痛、肩こり、目の疲れ……吹き飛ばしましょう。

動きやすい服装・シューズ(タオルの用意など)でご参加ください！ 更衣室を用意します。

定員：30名

受講料：2,500円

会場：生徒ホール

15:00~16:30

5/14 (土)

5/28 (土)

6/ 4 (土)

6/18 (土)

7/ 2 (土)

*松桜会講座では、講師を募集しています。講座の趣旨に適任の方々のご推挙を、事務局までお寄せください。

受講生の声

金接講座を受けて

陶磁器の補修技法の金接に興味がありましたので、会報で講座があることを知り早速申し込みました。講座では、小柳先生からまがいの物ではない本日の日本伝統的なすばらしい金接の技法が学べ、毎回次はどんなものを使い、どんな技法で補修を進めていくのか、さらに金接にまつわる幅広いお話がうかがえ、毎回の講座をわくわくしながら大変楽しみに参加させていただき、何とか形にすることができました。講座回数制限の中で何とか完成させるために多くのご苦労があったことと思います。

小柳先生と松桜会幹事の方々には、大変楽しい時間を過ごさせていただき感謝しております。又機会がありましたら、参加させていただきたいと思っております。ありがとうございました。(駒27 小澤 洋一)

百人一首講座に参加して

同窓会報の講座受講生の募集に、第三の方は幾人くらい申し込まれたかと思つて何うと、果たして一年上の小杉様一人のみ。あの苦しかった大戦の後、第三のお友達七人くらいでかるた会を楽しんでいたのに、加齢とともに段々と人数が減り、遂に解散してからももう十年も過ぎてしまった。

今度は小杉様のほかは初対面の方ばかり。毎回お話をあと一度ずつ手合わせをしていただいた。久しぶりに一枚の札を一秒を争って取り合ったり、得意にしてきた札を先に取られて驚いたり、楽しい数日をありがたうございました。こんなに日本の歴史や、文学で有名な方々の事などをもとになら、お友達と一瞬でも早く、物を取り合うなんてゲームがほかにあるかしら。(第三34高等科18 大島 郁子)